



大切なお住まいや歴史的な建築物をそのままそっくり移動します



ひき家・土台揚は116年の歴史と最高クラスの技術の岩手県「及川組」へ

土地区画整理等で建物を移動したい！
隣当たりが悪いので建物の向きを変えたい！
空地有効利用のため建物を上げ下に駐車場等を作りたい！
また歴史的な建築物や貴重な文化財等をそのままの姿で移動して保存したい！
等々、こんな時に活躍します。
建物の移動や劣下修正・補強・補修を業務として営業しています。
特に文化財の保存分野に関わりを大きく持っています。

創業以来116年、多岐にわたってひき家業（家屋移転）を行っており、長年に亘る経験と実績があります。
これまでに卓越した技術を認められ、岩手県知事表彰を二度授与されました。

【画像】西光寺鐘つき堂工事（平成16年）
2m高台へ移転

ひき家（現家）とは >

創業1907年のひき家業（家屋移転）

及川組では、115年間培ってきた匠の技術でお客様の大切な建物の工事を誠心誠意行わせていただく所存です。
ご用命をどうぞよろしくお願い致します。

【画像】西光寺鐘つき堂工事（昭和30年）
5mの高台へ移転

[会社概要 >](#)



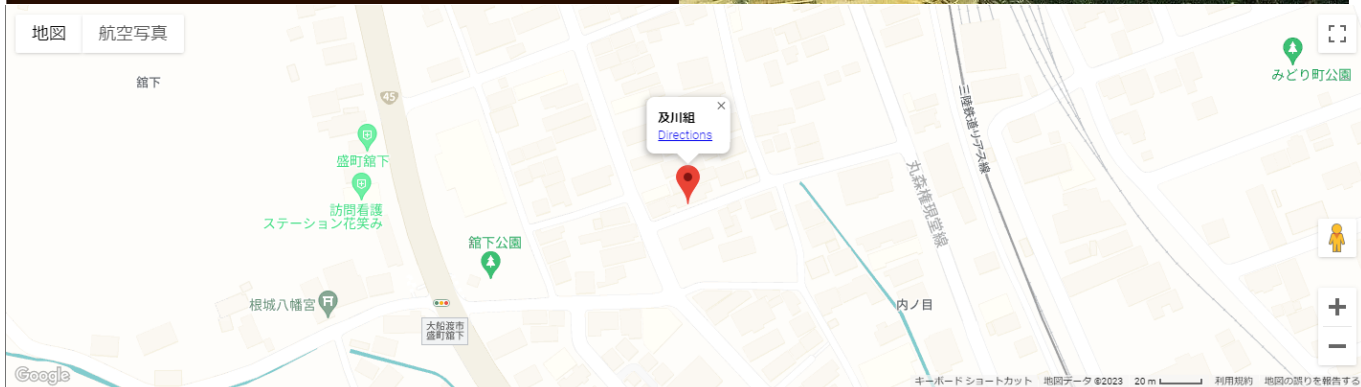
アクセス

電車

大船渡線・盛駅徒歩5分

車

大船渡市役所から1分



見積無料、相談無料です。お気軽にお問合せください。

☎ 0192-26-2615
営業時間 9:00~17:00

[会社概要 >](#)

ひき家業(家屋移転) 創業1907年
及川組
TEL 0192-26-2615 FAX 0192-26-2400
岩手県大船渡市 及川組

岩手県大船渡市盛町字内ノ目2-8
TEL : 0192-26-2615
営業時間 : 9時~17時

ホーム
ひき家とは
施工事例
お知らせ
会社案内
お問合せ

ひき家とは

ひき家（曳家）って？



家を曳(ひ)いて移動させる事

あまり馴染みのある言葉ではありませんが、昔から使われている工法です。

「ひき家工事」とは建物を取壊さずに移動したり、回転させたりする工事です。

ひき家工事は建替えによる予算に比べ、低予算かつ工期も短時間で済みます。

住み慣れ親しんだ建物を大切に維持・保存することができます。

▼次のような場合に有効です▼

- 都市計画対象地区になってしまい、道路等建設により建物が移動対象になった場合。
- 建物の増改築に伴い、建物を移動したり向きを変えたい場合。

ひき家（建物の移動）工事

創業以来114年、多岐にわたってひき家業（家屋移転）を行っており、長年に亘る経験と実績があります。

これまでに卓越した技能を認められ、岩手県知事表彰を二度授与されました。

1. 一般住宅の家屋移転
2. 地震等による地盤沈下の修正
3. 神社仏閣の移転
4. 土蔵の移転
5. 古民家 改修、移築



国の有形文化財 仙臺屋

「仙臺屋」は茶や菓子の小売業を行っており、工事中も店を休むことのない様、家屋を半分ずつひき家移転。



① 始めに右半分の工事。左側で商店継続。



- ② 右半分の工事終了。今度は左半分の工事着工。完成した右側で商店を始める。
- ③ 全ての工事が完成。道路拡張の為、3m後方に移動。

【工事実績】 国の有形文化財「仙臺屋」

2007年5月工事
区画整理に伴ってのひき家工事の工程
(岩手県遠野市)

国登録文化財 角星



ぶつかった跡

-
- ① そもそも2階建の蔵。
-
- ② 津波により蔵が流され、後ろの建物に突き刺さる。1階部分は壊滅状態。
- 1階はグチャグチャ
-
- ③ 突き刺さった2階部分を回転しながら抜き出して、平らにし、元の位置に5m引き戻した。1階は再生不能でがれきと化した。
- 5mひいて元の位置に戻した

【工事実績】 国登録文化財「角星」

2012年7月工事
2011年3月11日の東日本大震災で被災した蔵 ひき家工事の工程
(宮城県気仙沼市)

主な取扱工事

01

曳家工事

家やその他建物を原型のまま移動

【対象物件】 木造住宅／神社・仏閣／鉄骨造、店舗、工場／ハウスメーカー／土蔵／鉄筋コンクリート造建物

02

移設解体工事

古民家を部材ごとに取外し、新設場所にて原型に復元

03

建物沈下修正工事

地盤沈下、経年劣等により、傾いた建物を水平に復旧
一般的には、木造住宅等を既存土台よりジャッキアップ、水平復旧

【対象物件】 木造住宅／神社・仏閣／鉄骨造、店舗、工場／ハウスメーカー

04

嵩上工事

現況位置にて建物を上に揚げ、新規基礎および土台廻りの取替え補強等を行う工事
また、嵩上後建物下にて新規駆体工事を行い、地下室・駐車スペース・居住空間等を増築する場合もある

【対象物件】 木造住宅／神社・仏閣／鉄骨造建物／ハウスメーカー

施行事例



八幡神社移転工事

基礎230t、建物70t、合計300tの八幡神社を基礎ごと80m移動



遠野博物館土蔵移転工事

遠野市では蔵を集めて蔵のある町づくりを実施しました。
みそ工場の土蔵を20mひき、遠野市の博物館として改修しました。



華蔵寺移転工事

2回の工程

(1) 緑の下での困難な基礎工事をさけるためお堂を10m移動、更地にて基礎工事の70%を完了させ、仮置中に老朽化した柱を入れ替え、新規に土台を入れました。

(2) 元の位置にひき家をした後に、前の基礎と重複した部分があるので更に揚げ家をして基礎を作りました。



多田邸土蔵移転工事

自宅増築の際スペースを作るため、土蔵の向きを変え、20mひいて配置替えをしました。
土蔵はその後立派な白壁に改修されました。



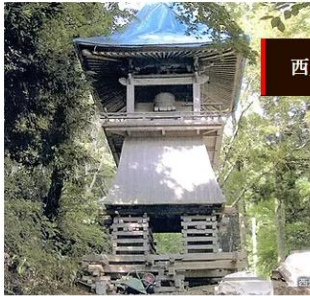
吉田邸移転工事

2.5m揚げ家をし、その場所に2mの基礎を作り、その地階は物置に改築。
工事終了後に東日本大震災が発生しましたが、震度6の激震にも耐え、少しのくずれもなく漂としておりました。



甘竹邸移転工事

区画整理の為に一般的なひき家をし、40mひきました。



西光寺の鐘つき堂

- (1) 5m位 高い丘の上に移動
移動する際つり下げてあった鐘を、いったん1階の床に降し、重心を下げてバランス良く安定させ、徐々に上に揚げていきました。
- (2) 家がたくさん建ち始め、檀家が増えてきたら、朝の鐘の音が聞こえないという苦情が出てきたため、和尚は、鐘つき堂を更に2m丘の上に揚げ、向きを変え、皆に鐘が聞こえる様配慮されました。



大船渡小学校移転工事

昭和23年には、立根小学校も移動させました。
写真をよく見ると資材に白を使っています。その当時、資材のない時代でしたので各家庭にあった高さ60cmの白を借り集めてのひき家工事となりました。
まさに地域一体となって行った大工事です。夏休み中の1ヶ月で移転させ新学期の授業に間に合わせました。



海上におけるひき家工事

昭和34年工事。
途中で障害物があった為、地上でのひき家を断念、干潮で海水が引いた時に海の中に枕木を栈組みし、結局いったん岸壁沿いの海の上にレールをしいて移動させ、又、地上に戻してひき家をしました。

会社案内



| | |
|-----------|-----------------------------|
| 会社名 | 及川組 |
| 代表者 | 及川徹 |
| 所在地 | 岩手県大船渡市盛町字内ノ目2-8 |
| TEL FAX | 0192-26-2615 0192-26-2400 |
| 業種 | 建設業、ひきや（曳家）工事、土木工事、リフォーム |
| 営業時間 | 平日 月曜～金曜 9:00～17:00 |
| 休業日 | 土曜日・日曜日・祝日 |

見積無料、相談無料です。お気軽にお問合せください。

 **0192-26-2615**
営業時間 9:00～17:00

[会社概要 >](#)



岩手県大船渡市盛町字内ノ目2-8
TEL : 0192-26-2615
営業時間 : 9時～17時

ホーム
ひき家とは
施工事例
お知らせ
会社案内
お問合せ